

<4時から夢塾> 英語

第7回「4時から夢塾」は、8月6日(月)に十日町市教育委員会 嘱託指導主事 小林 豊先生を講師に『英語』(Reading を中心に)



「目の前にある教科書を創造的に使おう!」をテーマにして講義を開催しました。

1 講師の提案

まずは、教師自身が教科書に盛り込まれた題材を読む「楽しさやよさ」を発見することからスタートします。題材にどっぷりつきましょ。この「何を読むか(what to read)がしっかりしていないと、教材のもつ価値や重さが授業者に伝わりません。教科書には、構成過程で丁寧に練られた価値ある教材が並んでいますので、題材選びに十分時間をかけたいものです。自伝であれば、その人物を生んだ時代背景や生き様など、人物に関する最低限の知見をもたないと教科書素材の英文に込められた意味(what / why to read)をつかむことができません。当然、学習者には伝わっていきません。どうでしょうか、題材にもう一步踏み込んでみましょう。



2 提案の進め方

Part 1 Reading 活動を支える；基本的なスキルを確認します。主語ー動詞。代名詞、接続語等
Part 2 実際のワークシートを素材にして、分析・議論を進めましょう。

- ① Reading1 パノラマシート 1画像からどんな言葉が浮かびますか。2画像を手がかりに…
- ② Reading2 「なりきり音読」ワークシート①「なりきり音読シートー青鬼編」をつくる⇒②「なりきりインタビューテスト」向けトレーニング⇒③「なりきりインタビューテスト」受ける。…

3 移行措置対応スタート前！ チェックしたいこと！

- ・小学校外国語は中学校の前倒しではなく新しい教科。小学校文化に根差した外国語教育を創る。
- ・主たる目的はコミュニケーション能力の育成である。…目的や場面、状況等に応じて情報を整理して。



<参加者の声>

- 場面設定をすることで、気持ちのこもったコミュニケーションができることを学んだ。
- 1つの教材でモノや設定を変えて、会話を何度も繰り返すことで覚えていくことがわかった。
- 子どもたちを動かす教師の工夫の大切さを感じた。→子どもをやる気にさせる教材の工夫。
- 演劇的表現(なりきり)が活用できそうだ。シャイな子どもを上手く乗せてあげたい。
- 教科書の活用を知ることができて良かった。英語で内容を理解することの大切さを学んだ。